



社団法人発明協会 第30回未来の科学の夢 絵画展 幼稚園の部 奨励賞「へんしんスーツ」

八正学園 ハイロスハイマ幼稚園（広島県福山市）まこと組

「ペンギンになって上手に泳ぎたい」「サルになって木登り名人になりたい」

そんな子どもたちの夢を叶えてくれる素敵なスーツです。

# HEART REPORT

## 第52期 中間報告書

[平成20年2月1日～平成20年7月31日]

証券コード: 7956



代表取締役社長

大越 昭夫

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃のご支援に対して、厚く御礼申し上げます。

当中間連結会計期間は、「第三次中期経営計画」の初年度であり、重点課題の達成に向けたスタートという重要な期間との認識のもと、経営資源を重点的に投入した海外事業が所期の計画どおり成長ドライバとしての役割を果たしたほか、海外市場におけるブランドロイヤリティの強化、および中国、北米をはじめとする既存市場における事業の積極的な拡大が進捗しております。一方で国内におけるヘルスケア事業におきましても、老化予防用品新ブランド「リクープ」の育成に積極的に取り組み、順調に成果が上がっています。

今後とも、グループの有する数多くのアドバンテージを最大限に活かし、グローバルカンパニーへの飛躍を目指す中期経営計画の諸施策を強力に推進いたします。

これまで半世紀以上にわたり、経営理念である「愛」を具体的な商品、ソフトサービスの形で提供することを柱として事業を展開してまいりました。今後とも、いざさかもこの基本路線を変えることなく、“育児を核とした生活支援企業としてのブランドと経営品質により、世界の中で存在感のある企業となること”を目指し、これまで進めております変革のスピードをさらに加速いたします。

また、株主の皆様のご支援にお応えするため、今期の配当は、中間配当、期末配当予想を3月発表の予想からそれぞれ1株当たり5円増配し、1株当たり23円（年間配当予想 1株当たり46円）とし、対前期では中間で10円、期末予想で8円の増配といたします。

株主の皆様におかれましては、これまで同様、ビジョングループの事業活動に対するご理解と、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 経営理念

「愛」

妊娠、出産、子育て、そして介護を通して、

手助けを必要とするすべての人々に、

『愛』を具体的な商品やソフトサービスの形にして提供する

## 今こそ、ビジョングループの強みを活かした変革のとき！

### Q 順調に進展した中間期の業績の概要についてお聞かせください。

当中間連結会計期間の業績は、おかげさまで“増収増益”となり、目標達成に向かって業務に精進してくれました社員の皆さんに感謝したいと思います。

具体的には、「第三次中期経営計画」（平成21年1月期～平成23年1月期）に掲げたテーマである「GLOBAL Companyへの飛躍～チャレンジ、そして自立」の初年度となる当連結会計年度は、この中期経営計画に盛り込まれた重点課題の達成に向けて基本方針に沿った取り組みを着実に実行してまいりました。特に、海外事業におきましては、グループの成長ドライバとして、経営資源を重点的に投入し、適切なマーケティング戦略のもと、海外市場におけるブランドロイヤリティの強化、浸透を図り、中国、北米をはじめとする既存市場における事業の積極的な拡大につながっております。また、国内事業におきましては、育児用品事業における厳しい環境、市場変化への対応力を高めるため、マーケティング本部と営業本部を「国内ベビー・ママ事業本部」として統合し、取り組みを強化しました。ヘルスケア事業については、既存事業の生産性・収益性の改善に注力するとともに、老化予防用品新ブランド「リクープ」の育成に積極的に取り組みました。

その結果、売上高は、266億62百万円（前年同期比11.8%増）、利益面は、原材料価格上昇の影響はあるものの、特に利益率の高い海外事業の伸長が貢献し、営業利益は21億18百万円（前年同期比39.8%増）、経常利益21億4百万円（前年同期比41.6%増）となり、中間純利益は13億63百万円（前年同期比51.9%増）となりました。

### Q ビジョングループの「経営理念」および経営の側面から見た強みについてご説明ください。

私どもの経営理念は「愛」です。社是も「愛を生むは愛のみ」とし、とても普遍的で理解しやすいものです。この理念は人間性に根ざすもので、永遠に変わらず、しかも身近で誰でもわかりやすいものだと思っています。

さらに、事業内容が社会性に富み、本業の事業展開が即CSR活動となるという「時代を先取りしたCSR経営」であることも大きなアドバンテージです。

また、同族経営からの短期間での合理的なパブリック企業への変革の中において“企業が求めるあるべき姿”を追求する、より客観性の高い人材が育ってきており、組織力が高まってきたことも、ビジョンという企業の持つ伝統的な「純粋さ」という魅力に「強さ」を加味する意味でも重要であると考えています。

### Q 独自の事業展開と無類の安定成長を可能としている要素について、改めてご説明ください。

創業時に「哺乳器」という“着目されることが少ないニッチな市場”からスタートし、しかも、それが育児用品関連という人類共通の普遍的な市場でもあったことから、研究を重ねることにより着実な成長を遂げ、絶対的な地位を確立することができました。今では、ダイレクト・コミュニケーション、ウェブサイト等も活用したバランスのよい事業展開を行なっております。そしてビジョンブランドは圧倒的な信頼のトップブランドとして定着しています。乳幼児や高齢者という「ヒト」を対象としたビジネスであるため、景気の波やハイテク化といった外部環境の影響を受けにくい安定した市場であることもポイントです。体のメカニズムに対応した商品開発は「ヒト」の数だけでなく、質の追求でも市場は成長します。また国内で培ったノウハウを水平展開することにより順調に海外事業が進展しています。日本が最高水準の品質レベルを要求する国であることもグローバル展開では有利に作用しています。最近では、乳幼児市場で蓄積した「基礎研究」の積み重ねを活かし、高齢者市場でも積極的に展開しています。

### Q ビジョングループの成長シナリオにおいて「第三次中期経営計画」の果たすべき役割についてお聞かせください。

当社グループの成長シナリオにおいて「第三次中期経営計画」の果たすべき役割は明確です。サブタイトルに「チャレンジ、そして自立」ということを掲げましたが、これは、全社員が一丸となり、仕事に対して常にチャレンジする姿勢で臨み、しかも、人に言われてやるのではなく、自らの意思で積極的に推進していく姿勢を求めたものであり、より強いビジョングループへの変革を目指すことを期待しているものです。

今後とも、日常業務推進のあらゆる局面において、社員一人ひとりが自己の成長を目指し、常にポジティブに仕事にチャレンジしていくマインドを維持できるならば、この「第三次中期経営計画」の達成はもちろん、来るべき100周年に向けた礎は十分に築くことが出来ると考えています。

**Q 「愛」を具体的な商品やソフトサービスの形にして提供することを経営理念とする御社の“商品開発段階”での基本姿勢、こだわりについてお聞かせください。**

研究開発を進め商品化するにあたり、当社の社員は“世界（日本）で初めて!”ということにとってもこだわります。セールストークの中で「この商品は赤ちゃん用としては世界初登場です!」と言えると結構、売れます。それがないと「それは新商品ではない」と言わなければなりません。とにかく、何でも「初めて」を求めてしまうのです。

そして、当社の商品開発の基本には、体のメカニズムに対応した徹底した基礎研究と、赤ちゃん、お母さん、高齢者の“お困りごと”を解決したいとの思いがあります。

品質へのこだわりも強く、他社商品と差別化できるものを追求します。しかも、それが人間にやさしいものでなくてはならない。“お困りごと”が解消し、なおかつ付加価値がなくてはダメだとか、結構、欲張りです。だから、研究開発に携わる人たちは大変です。でも、そのくらいのこだわりでいいと考えています。それらの条件をきちんとクリアできるような商品を作らなければいけ

ません。今回の新商品「菌みがきティッシュ」もそうですが、一本方向性の定まった開発の姿勢があらわれています。明確に言えることは、品質が良くてはいけないということ。「ハイクオリティでなければビジョンブランドをつけてはいけない。」と私はいつも言っています。ビジョンブランドをつけて売るのは、どこに出しても恥ずかしくないだけのバックデータがあり、エビデンスが備わって、その上で商品化されている、ということが求められます。

**Q 「第三次中期経営計画」の中でも「経営品質の向上」の施策として“CSR活動の拡大”があります。CSR活動への取り組みの現状や今後の方向性についてお聞かせください。**

育児から介護の領域で、幅広く“お困りごと”を解消していく事業を展開しているため大きな社会貢献が可能という意味で、私はいつも社内でも「当社の存在そのものがCSRだね。」と話しています。そして、子育て支援事業やマタニティイベント開催、妊娠・育児クチコミ情報ポータルサイト「ビジョン・インフォ」およびそのオフ会開催等のダイレクト・コミュニケーションにも注力していますし、事業以外の取り組みとして、既に20年以上にわたり継続して行っている育樹（植樹）の活動もあります。最近では、“美和の森”の地元の茨城県常陸大宮市と連携した位置付けとなり、ますます社会的意義が高まりました。

地球環境の保全というテーマに我々民間の一企業がどのように関わることができ、その問題意識を企業経営の中にいかに反映し、外部に情報発信していくかというテーマは重要なことと考えています。

**Q 株主還元についての基本的なお考えについてお聞かせください。**

「第三次中期経営計画」の最終年度時点の目標水準としているのが「総還元性向50%」です。ちなみに、今期の配当については、株主の皆様のご支援にお応えするため、

中間配当および期末配当予想を3月発表の予想から1株当たり5円増配して23円、年間配当予想を10円増配の46円とし対前期では中間で10円、期末予想で8円の増配となります。企業の成長のために必要な投資を積極的に行い、また財務基盤の安定を図りながらも、株主の皆様への還元を拡充させていきたいとの考え方に基づいています。

そういった点では、将来を見据えて経営する中で、資本の投入が必要なケースでは、しばらくの間、配当を抑制し、集中的に投資する場合もあり得るということになります。

**Q 最後に、株主・投資家の皆様へメッセージをお願いいたします。**

社長就任以来、1年半が経過しました。最近になって、私の運営方針が浸透した結果かなと考えられる変化が見られるようになったとの外部評価をいただくようになりました。そのことは、各事業分野で推進中の施策が実りはじめたものと考えています。

また、私どもは株主様との信頼関係を何よりも大切にしたいと考えており、そのためにはコミュニケーションが第一と考えております。そのため新しい成長軌道に乗り、変革が進みつつあるビジョングループの姿をより正確にお伝えしたいという考えのもと、今回の報告書よりサイズを含め、内容に関しまして見直しを行いました。また、別途、「株主アンケート」も実施させていただき、皆様のご意見を是非お聞かせいただきたいと考えております。

私は、日頃より“有言実行”をモットーとし、常に誠意、事業経営にあたっています。今後とも、中期経営計画に沿った施策の推進により、順調に業績を積み上げるべく努力してまいります。株主、投資家の皆様におかれましては少なくとも中期経営計画の期間である3年前後の中長期的なタムで当社の企業活動を見守っていただければと存じます。

最後に、株主・投資家の皆様には、引き続き温かいご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



● セグメント別状況 連結売上高 266億62百万円

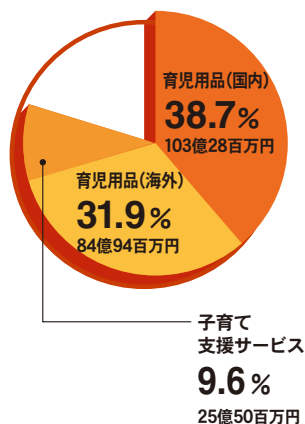
● 事業区分

● 売上高・売上比率

● 業績の概要

● 取扱商品／サービス

育児事業



80.2%  
213億73百万円

■ 国内育児用品事業

出生数の回復は依然としてみられず、厳しい環境、市場変化への対応力を高めるため、本年2月より、マーケティング本部と営業本部を「国内ベビー・ママ事業本部」として統合し取り組みを強化しました。また、新商品は、「母乳パッド はじめてのフィットアップ」「つめきりお手入れセット」等の発売を開始しました。さらに、継続して開催しています「マタニティ・イベント」も体験型・セミナー型・コンサート等幅広く展開し、1,500名を超える方にご参加いただきました。加えて、テレビ番組「ベビー Style」の提供を継続しており視聴者の方からも高い評価をいただいております。また、ネット通販サイトである「ビジョン・モール」におきましても、オリジナル品および新規商品等を積極的に投入し売上拡大の基盤作りに注力しています。

■ 海外事業

地域別実績では、中国、北米をはじめとするほぼ全てのエリアにおいて前年同期実績を上回り、商品別実績では中国におけるスキンケア、哺乳器、乳首、母乳パッド等を中心に、主力商品の拡大と新商品の導入で売上および利益を押し上げました。さらに、インド市場においても、本年7月に駐在員事務所準備室をムンバイに開設し、より本格的な情報収集、販路拡大およびブランド構築活動に着手しています。また、中国の新工場が本年1月より本格的な稼働を始め、乳首、洗剤等の量産を開始するとともに、本年秋のスキンケア商品の量産開始に向けた準備を進めています。

■ 子育て支援サービス事業

事業所内保育施設の運営受託をはじめとする営業活動を行っており、当中間期において5園の新規運営受託を開始しています。また、保育士教育カリキュラム「ビジョン・ハートナー・オープンカレッジ」を継続して開講しており、より一層の保育の質の向上に注力しています。

以上の結果、育児事業の売上高は213億73百万円(前年同期比13.0%増)となりました。

● 授乳関連用品

哺乳びん  
乳首  
哺乳びん洗浄液  
哺乳びん消毒液  
消毒容器  
びん洗浄ブラシ  
消毒はさみ  
母乳パッド  
搾乳哺乳器

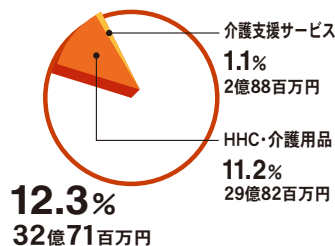


● 離乳関連用品

マグマグ  
調理器具  
ベビー食器  
食事用エプロン  
ベビーフード  
ベビー飲料



ヘルスケア事業



介護用品ブランド「ハビナス」は、既存品に加え「尿とりパッド長時間用・夜用 ワイドタイプ」等の新商品および改良品を発売し、また、前期に新しく立ち上げた老化予防用品新ブランド「リクープ」は、新商品「負担軽減サポーター」の展開に加え、ブランド認知を広めるためのイベント等の開催を積極的に行っており、当中間期は、8回、270名の方にご参加いただき、好評をいただいております。「ハビナス」「リクープ」とともに、おしいただく高齢者の方々のニーズにあった高品質な商品をお届けすべく、スピードを上げて商品展開に取り組んでいます。

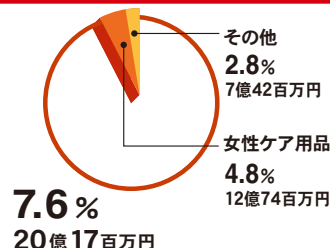
以上の結果、ヘルスケア事業の売上高は32億71百万円(前年同期比3.4%増)となりました。

● 介護用品・老化予防用品

|          |       |         |
|----------|-------|---------|
| 大人用紙おむつ  | 防水シート | 清拭剤     |
| 尿とりパッド   | 健康枕   | 消臭用品    |
| 快適パッド    | おしりふき | 食器食具    |
| おむつカバー   | からだふき | 食事用エプロン |
| 失禁用吸収パンツ | 尿器、便器 | 口腔衛生用品  |
| 失禁用快適パンツ | シャンプー | 歩行補助器   |



その他事業



その他事業は連結子会社であるビジョンウィル株式会社の販売するマタニティのインナーウェアがその売上高の多くを占めておりますが、妊娠・授乳期に必要な栄養素を一粒に配合した、飲みやすいビタミンサプリメント「葉酸プラス」(保健機能食品)の売上増、さらには中国における女性向けスキンケア用品の展開等により、順調に業績を伸ばしています。

以上の結果、売上高は20億17百万円(前年同期比14.6%増)となりました。

● 女性ケア用品

サプリメント  
マタニティインナーウェア



## ●スキンケア用品

ソープ  
シャンプー  
オイル  
ローション  
UVスキンケア  
パウダー  
おしりナップ  
ウエットティッシュ



## ●子育て支援サービス

保育  
託児  
ベビーシッター  
サービス



介護用ベッド  
車椅子  
寝巻  
サプリメント  
ステッキ  
シューズ



## ●その他ベビー関連用品

小児用医薬品  
電子体温計  
温湿度計  
体重計  
湯温計  
セーフティグッズ  
綿棒  
乳歯ブラシ  
つめきりハサミ  
クールまくら  
冷却用シート  
おしゃぶり  
口腔トレーニング  
ハンドトイ  
バストイ  
ベビーシューズ



## ●介護支援サービス



栃木県下において事業展開

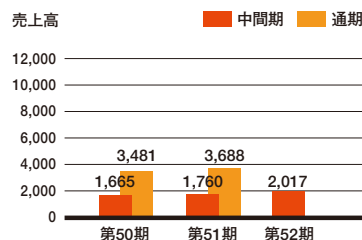
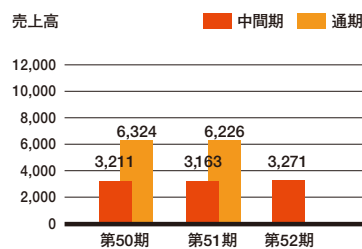
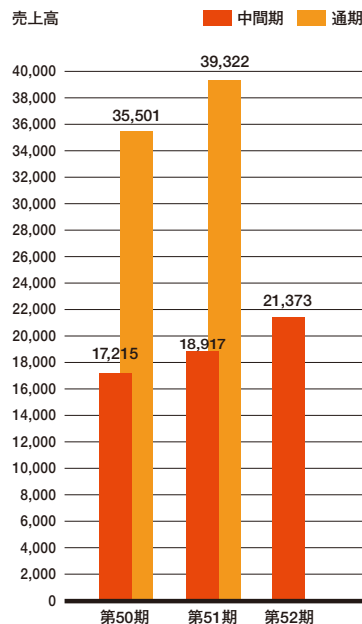
## ●その他



一般用ウエットティッシュ、その他

## ●売上高の推移

(百万円)



## ●地域別状況 海外売上高 87億60百万円 (海外比率 32.9%)

## ●地域区分

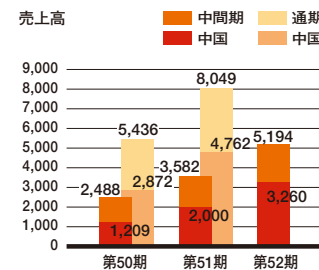
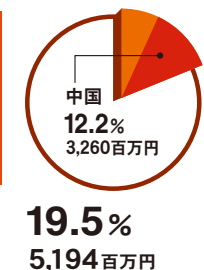
## ●売上高・売上比率

## ●売上高の推移

(百万円)

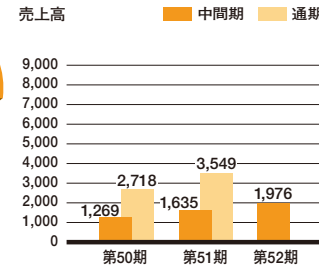
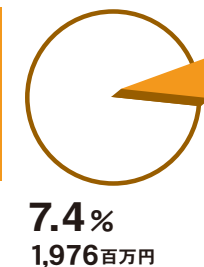
## 東アジア

中国(含香港)  
韓国  
シンガポール他



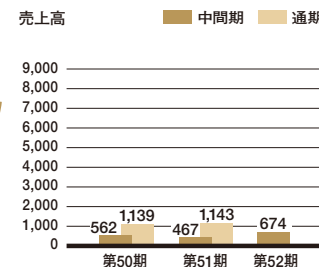
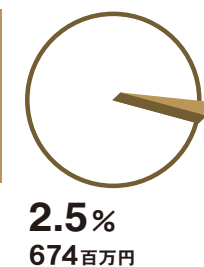
## 北米

アメリカ  
カナダ 他



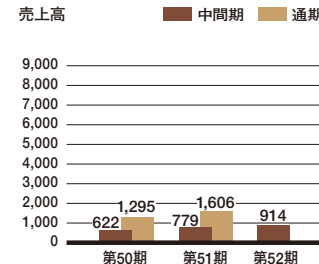
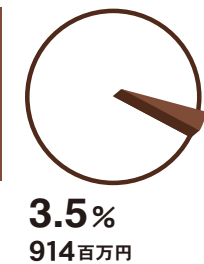
## 中近東

アラブ首長国  
連邦 他



## その他

ヨーロッパ  
オセアニア  
中南米 他



# 成長を続けるピジョングループの成長戦略！→「第三次中期経営計画」がスタートしました！

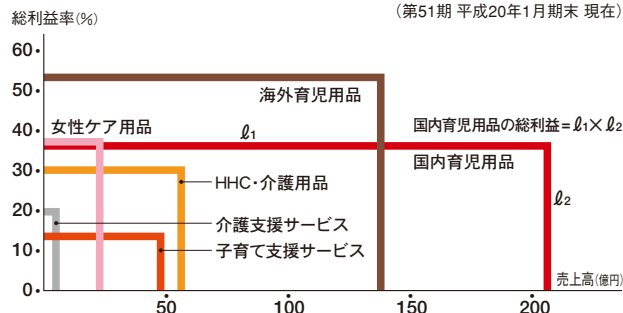
## GLOBAL Companyへの飛躍 — チャレンジ、そして自立 —

### 「第三次中期経営計画」の基本フレームワーク

ピジョングループの事業ポートフォリオを中心に、発展・成長の要素を表現しています。

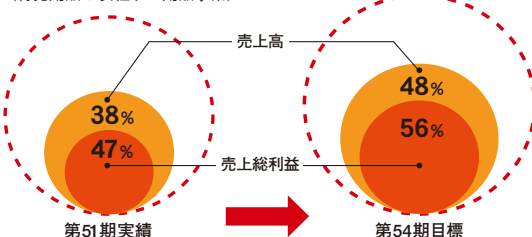
#### ピジョングループの収益の源泉としての事業ポートフォリオの現状

(第51期 平成20年1月期末 現在)



#### 海外売上比率で見る“グローバル化”の推進目標

(育児用品 + 女性ケア用品事業)



#### 経営品質の向上目標

- **営業利益率向上の取り組み**
  - 海外事業を中心とした総利益増加、販管費増加抑制
- **資本政策・株主還元**
  - 営業キャッシュ・フローの増加、積極的設備投資
  - 第54期総還元性向50%以上を目指す
  - 自己資本当期純利益率(ROE)12.0%以上
- **CSR活動の拡大**
  - 社会への貢献 — 事業活動経由+育樹等
  - 社内体制の整備 — リスクマネジメントの徹底

### 中核戦略

「第三次中期経営計画」の骨子をテーマ別に分かりやすく整理しました。海外・国内とも育児用品の積極的展開がポイントとなっています。また、国内では、特に、その他事業の質的向上とスケールアップが必須の課題です。

#### 育児用品のグローバル化

- **海外事業の基本方針** — グループ最大の成長ドライバーとして強化

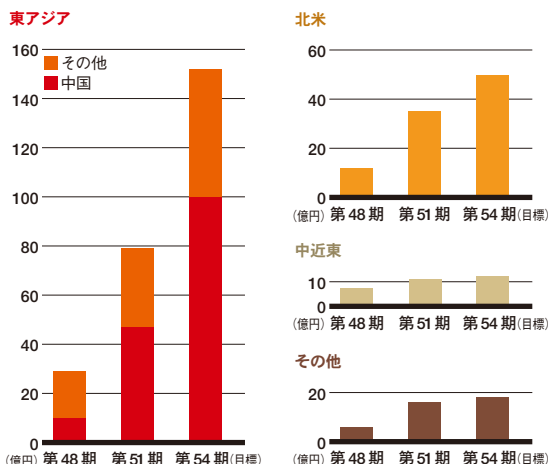
- **市場** 中国、北米を重点国とし、新たにインド開拓に着手
- **内部** 商品供給、開発体制や人材育成等、事業基盤の整備

- **中国での施策** — スピード感のある拡大
  - 販売網拡充とピジョンコーナーの拡大
  - 新製品の積極投入によるカテゴリ拡大

- **海外事業基盤の整備**

- マーケティングの強化
- 供給体制の整備
- 開発・品質管理

- **地域別売上推移(実績&目標)**



#### 海外

#### 国内事業展開

- **国内育児用品の展開** — 研究での差別化を核に、新たな市場機会を創出

GLOBAL展開可能な商品の開発

新たなチャレンジ = IT通販 + 新カテゴリ商品

- **ダイレクト・コミュニケーション強化**
  - 顧客にメッセージを伝える接点の一層の強化

未来の顧客への伝達 マタニティイベント ITの活用

- **子育て支援事業の品質向上** — 事業基盤を整備し、サービス品質を向上

成長事業の加速 → 提案機能の強化

運営基盤の整備 → 運営体制の向上

顧客ニーズに応じたサービスの提供

- **ヘルスケア事業の新分野開拓** — 新たなビジョンファンの獲得

- “リクーブ”ブランドによるエイジングソリューション
- ターゲット → “お困りごと”を感じ始めた高齢者
- ブランド浸透 → 顧客に響く施策の積極展開

- **介護用品事業の再生** — 介護用品再成長のためのシナリオ実行事業基盤の再構築

- 介護用品を「ハビナース」ブランドに統合
- 流通チャネル構築
  - ピジョン → 一般流通チャネル
  - ピジョンタヒラ → 専門チャネルへの販社化

- カテゴリを集中して新商品を投入 → 売上を回復
- 代理店を活用した「施設・病院等」のオペレーション改善

## ■ 連結財務ハイライト

### 定量目標

「第三次中期経営計画」の計数的な目標です。  
具体的な各施策の積極推進により達成を目指します。

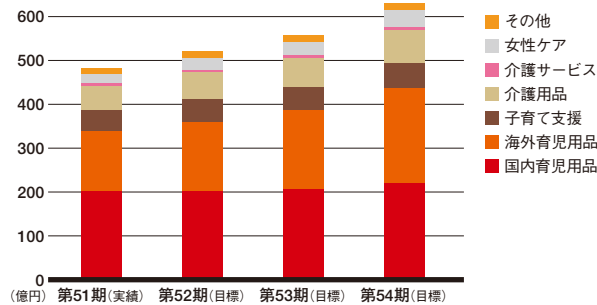
### 経営目標

売上高 492億円 → **640億円** (+30.0%)

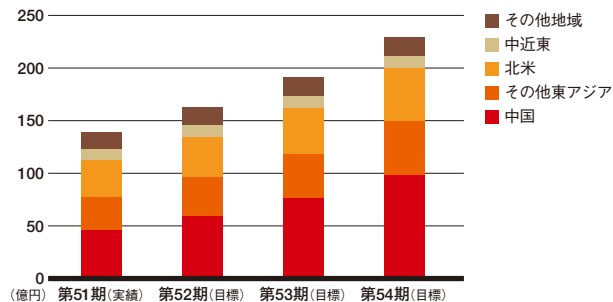
営業利益率 6.5% → **9.1%** (+ 2.6pt)

ROE 6.4% → **12.0%** (+ 5.6pt)

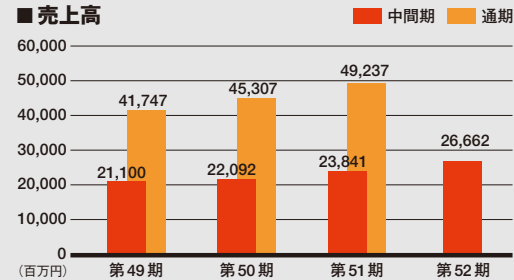
### 事業セグメント別 売上計画



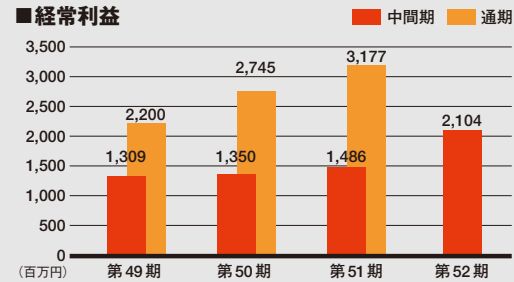
### 海外地域別 売上計画



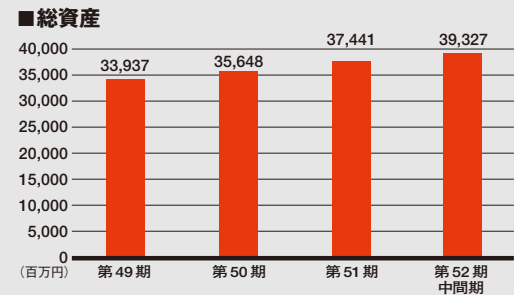
### ■ 売上高



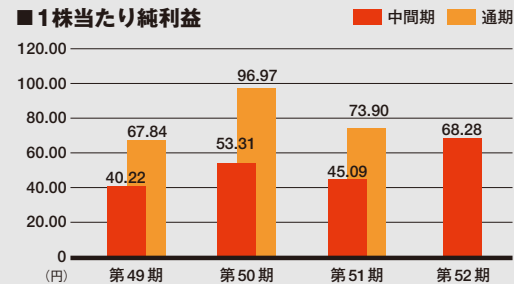
### ■ 経常利益



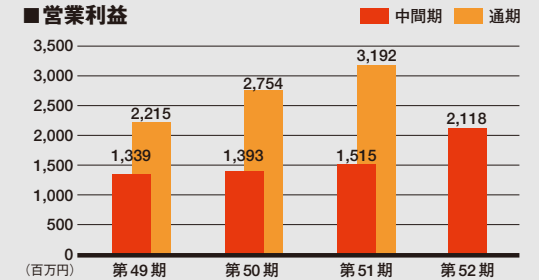
### ■ 総資産



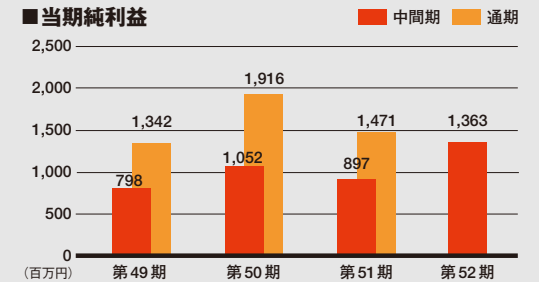
### ■ 1株当たり純利益



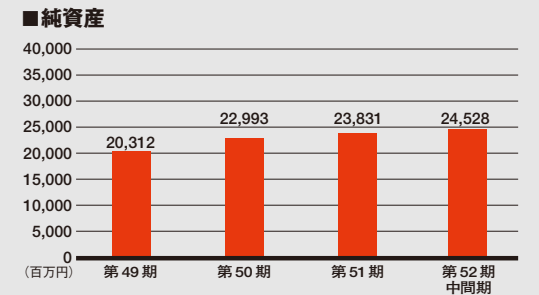
### ■ 営業利益



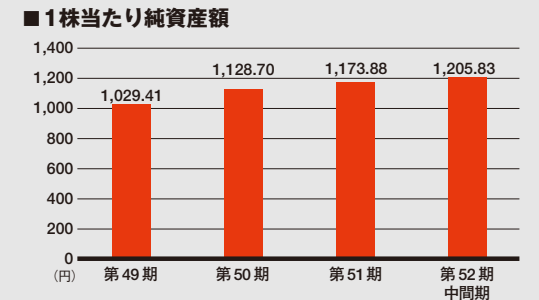
### ■ 当期純利益



### ■ 純資産



### ■ 1株当たり純資産額



■連結財務諸表

※百万円未満は切り捨てて表示しています。

■連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

| 科目           | 第52期中間期末<br>平成20年7月31日現在 | 第51期中間期末<br>平成19年7月31日現在 | 第51期末<br>平成20年1月31日現在 |
|--------------|--------------------------|--------------------------|-----------------------|
| 資産の部         |                          |                          |                       |
| 流動資産         | 21,782                   | 19,082                   | 19,395                |
| 固定資産         | 17,545                   | 18,606                   | 18,045                |
| 資産合計         | 39,327                   | 37,689                   | 37,441                |
| 負債の部         |                          |                          |                       |
| 流動負債         | 12,887                   | 12,337                   | 12,065                |
| 固定負債         | 1,912                    | 1,525                    | 1,544                 |
| 負債合計         | 14,799                   | 13,862                   | 13,610                |
| 純資産の部        |                          |                          |                       |
| 株主資本         | 24,397                   | 22,816                   | 23,132                |
| 資本金          | 5,199                    | 5,199                    | 5,199                 |
| 資本剰余金        | 5,180                    | 5,167                    | 5,167                 |
| 利益剰余金        | 14,454                   | 13,074                   | 13,389                |
| 自己株式         | △437                     | △625                     | △624                  |
| 評価・換算差額等     | △259                     | 603                      | 236                   |
| その他有価証券評価差額金 | △32                      | 24                       | △5                    |
| 為替換算調整勘定     | △227                     | 579                      | 242                   |
| 少数株主持分       | 389                      | 406                      | 462                   |
| 純資産合計        | 24,528                   | 23,826                   | 23,831                |
| 負債純資産合計      | 39,327                   | 37,689                   | 37,441                |
| 1株当たり純資産額(円) | 1,205.83                 | 1,176.50                 | 1,173.88              |

■連結株主資本等変動計算書 第52期中間期(平成20年2月1日から平成20年7月31日まで)

(単位:百万円)

|                                 | 株主資本  |       |        |      |        | 評価・換算差額等         |              |                | 少数株主持分 | 純資産合計  |
|---------------------------------|-------|-------|--------|------|--------|------------------|--------------|----------------|--------|--------|
|                                 | 資本金   | 資本剰余金 | 利益剰余金  | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券<br>評価差額金 | 為替換算<br>調整勘定 | 評価・換算<br>差額等合計 |        |        |
| 平成20年1月31日残高                    | 5,199 | 5,167 | 13,389 | △624 | 23,132 | △5               | 242          | 236            | 462    | 23,831 |
| 中間連結会計期間中の変動額                   |       |       |        |      |        |                  |              |                |        |        |
| 剰余金の配当                          | —     | —     | △298   | —    | △298   | —                | —            | —              | —      | △298   |
| 中間純利益                           | —     | —     | 1,363  | —    | 1,363  | —                | —            | —              | —      | 1,363  |
| 自己株式の処分                         | —     | 12    | —      | 188  | 201    | —                | —            | —              | —      | 201    |
| 自己株式の取得                         | —     | —     | —      | △1   | △1     | —                | —            | —              | —      | △1     |
| 株主資本以外の項目の中間連結<br>会計期間中の変動額(純額) | —     | —     | —      | —    | —      | △26              | △469         | △495           | △72    | △568   |
| 中間連結会計期間中の変動額合計                 | —     | 12    | 1,065  | 186  | 1,265  | △26              | △469         | △495           | △72    | 696    |
| 平成20年7月31日残高                    | 5,199 | 5,180 | 14,454 | △437 | 24,397 | △32              | △227         | △259           | 389    | 24,528 |

■連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

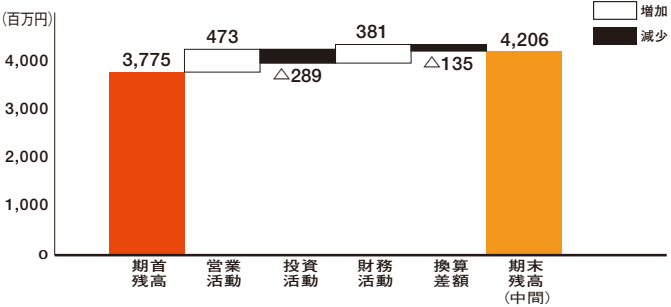
| 科目                | 第52期中間期<br>平成20年2月1日から<br>平成20年7月31日まで | 第51期中間期<br>平成19年2月1日から<br>平成19年7月31日まで | 第51期<br>平成19年2月1日から<br>平成20年1月31日まで |
|-------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|-------------------------------------|
| 売上高               | 26,662                                 | 23,841                                 | 49,237                              |
| 売上原価              | 16,583                                 | 14,749                                 | 30,597                              |
| 販売費及び一般管理費        | 7,961                                  | 7,576                                  | 15,447                              |
| 営業利益              | 2,118                                  | 1,515                                  | 3,192                               |
| 営業外収益             | 169                                    | 156                                    | 404                                 |
| 営業外費用             | 182                                    | 185                                    | 419                                 |
| 経常利益              | 2,104                                  | 1,486                                  | 3,177                               |
| 特別利益              | 2                                      | 87                                     | 120                                 |
| 特別損失              | 124                                    | 8                                      | 497                                 |
| 税金等調整前中間(当期)純利益   | 1,982                                  | 1,565                                  | 2,800                               |
| 法人税、住民税及び事業税      | 607                                    | 523                                    | 971                                 |
| 法人税等調整額           | △46                                    | 111                                    | 261                                 |
| 少数株主利益            | 57                                     | 33                                     | 96                                  |
| 中間(当期)純利益         | 1,363                                  | 897                                    | 1,471                               |
| 1株当たり中間(当期)純利益(円) | 68.28                                  | 45.09                                  | 73.90                               |

■連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

|                      | 第52期中間期<br>平成20年2月1日から<br>平成20年7月31日まで | 第51期中間期<br>平成19年2月1日から<br>平成19年7月31日まで | 第51期<br>平成19年2月1日から<br>平成20年1月31日まで |
|----------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|-------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー     | 473                                    | 715                                    | 3,707                               |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー     | △289                                   | △914                                   | △2,443                              |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー     | 381                                    | 572                                    | △172                                |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額     | △135                                   | 102                                    | 3                                   |
| 現金及び現金同等物の増減額        | 430                                    | 476                                    | 1,095                               |
| 現金及び現金同等物の期首残高       | 3,775                                  | 2,680                                  | 2,680                               |
| 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高 | 4,206                                  | 3,156                                  | 3,775                               |

■連結キャッシュ・フロー推移グラフ



POINT-1 連結財務諸表のポイント

■連結貸借対照表

〔資産〕

流動資産は前期末と比較して23億87百万円増加し、固定資産は5億円減少となりました。流動資産の増加は、受取手形および売掛金が19億88百万円増加し、たな卸資産が4億9百万円増加したことによるものです。

〔負債〕

流動負債は前期末と比較して8億21百万円増加し、固定負債は3億68百万円増加となりました。流動負債の増加の主な要因は、1年以内返済予定長期借入金が10億20百万円減少したものの、短期借入金が11億91百万円増加し、支払手形および買掛金が2億38百万円増加したことによるものです。固定負債の増加の主な要因は、長期借入金が3億72百万円増加したことによるものです。

〔純資産〕

純資産は、前期末と比較して6億96百万円増加となりました。その主な要因は、中間純利益の計上に伴い利益剰余金が10億65百万円増加したことによるものです。

■個別財務諸表

※百万円未満は切り捨てて表示しています。

■貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

| 科目           | 第52期中間期末<br>平成20年7月31日現在 | 第51期中間期末<br>平成19年7月31日現在 | 第51期末<br>平成20年1月31日現在 |
|--------------|--------------------------|--------------------------|-----------------------|
| 資産の部         |                          |                          |                       |
| 流動資産         | 12,684                   | 11,663                   | 11,307                |
| 固定資産         | 15,846                   | 16,924                   | 15,951                |
| 資産合計         | 28,531                   | 28,588                   | 27,258                |
| 負債の部         |                          |                          |                       |
| 流動負債         | 8,524                    | 8,698                    | 8,016                 |
| 固定負債         | 726                      | 791                      | 754                   |
| 負債合計         | 9,250                    | 9,490                    | 8,771                 |
| 純資産の部        |                          |                          |                       |
| 株主資本         | 19,313                   | 19,072                   | 18,492                |
| 資本金          | 5,199                    | 5,199                    | 5,199                 |
| 資本剰余金        | 5,180                    | 5,167                    | 5,167                 |
| 利益剰余金        | 9,370                    | 9,331                    | 8,750                 |
| 自己株式         | △437                     | △625                     | △624                  |
| 評価・換算差額等     | △32                      | 24                       | △5                    |
| その他有価証券評価差額金 | △32                      | 24                       | △5                    |
| 純資産合計        | 19,281                   | 19,097                   | 18,487                |
| 負債純資産合計      | 28,531                   | 28,588                   | 27,258                |
| 1株当たり純資産額(円) | 963.19                   | 959.35                   | 928.66                |

■株主資本等変動計算書 第52期中間期(平成20年2月1日から平成20年7月31日まで)

(単位:百万円)

|                               | 株主資本  |       |              |             |       |               |          |             |             |      |            | 評価・換算差額等             |                | 純資産合計  |
|-------------------------------|-------|-------|--------------|-------------|-------|---------------|----------|-------------|-------------|------|------------|----------------------|----------------|--------|
|                               | 資本金   | 資本剰余金 |              |             | 利益準備金 | 利益剰余金         |          |             |             | 自己株式 | 株主資本<br>合計 | その他<br>有価証券<br>評価差額金 | 評価・換算<br>差額等合計 |        |
|                               |       | 資本準備金 | その他資本<br>剰余金 | 資本剰余金<br>合計 |       | 固定資産<br>圧縮積立金 | その他利益剰余金 |             | 利益剰余金<br>合計 |      |            |                      |                |        |
|                               |       |       |              |             |       |               | 別途積立金    | 繰越利益<br>剰余金 |             |      |            |                      |                |        |
| 平成20年1月31日残高                  | 5,199 | 5,133 | 33           | 5,167       | 332   | 862           | 2,020    | 5,535       | 8,750       | △624 | 18,492     | △5                   | △5             | 18,487 |
| 中間会計期間中の変動額                   |       |       |              |             |       |               |          |             |             |      |            |                      |                |        |
| 固定資産圧縮積立金取崩                   | —     | —     | —            | —           | —     | △12           | —        | 12          | —           | —    | —          | —                    | —              | —      |
| 剰余金の配当                        | —     | —     | —            | —           | —     | —             | —        | △298        | △298        | —    | △ 298      | —                    | —              | △298   |
| 中間純利益                         | —     | —     | —            | —           | —     | —             | —        | 919         | 919         | —    | 919        | —                    | —              | 919    |
| 自己株式の処分                       | —     | —     | 12           | 12          | —     | —             | —        | —           | —           | 188  | 201        | —                    | —              | 201    |
| 自己株式の取得                       | —     | —     | —            | —           | —     | —             | —        | —           | —           | △1   | △1         | —                    | —              | △1     |
| 株主資本以外の項目の中間<br>会計期間中の変動額(純額) | —     | —     | —            | —           | —     | —             | —        | —           | —           | —    | —          | △26                  | △26            | △26    |
| 中間会計期間中の変動額合計                 | —     | —     | 12           | 12          | —     | △12           | —        | 632         | 620         | 186  | 820        | △26                  | △26            | 793    |
| 平成20年7月31日残高                  | 5,199 | 5,133 | 46           | 5,180       | 332   | 850           | 2,020    | 6,167       | 9,370       | △437 | 19,313     | △32                  | △32            | 19,281 |

POINT-2 連結財務諸表のポイント

■連結損益計算書

〔連結売上高〕

国内の売上高は微増でしたが、育児用品の海外売上高が前年同期と比べ35.3%増加し、グループ成長のドライバとなりました。海外事業の売上比率は3割を超え、32.9%となりました。

〔連結経常利益〕

原材料価格の上昇の影響があるものの、特に利益率の高い海外事業が伸び、また販管費の増加を抑制したことから営業利益は、39.8%の増加となりました。その結果、経常利益は、41.6%の増加となりました。

〔連結中間純利益〕

中間純利益は、商品自主回収関連費用が特別損失に計上されましたが、前年同期と比べ51.9%増加となりました。

■連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動による現金および現金同等物(以下「資金」という)の増加は、4億73百万円(前年同期比33.9%減)となりました。これは、税金等調整前中間純利益、減価償却費、未払金の増加等の資金の増加要因があったものの、売上債権の増加による資金の減少があったこと等により、投資活動による資金の減少は、2億89百万円(前年同期比68.4%減)となりました。これは、定期預金の払戻による収入、および、有形・無形固定資産の取得による支出があったこと等によるものです。財務活動による資金の増加は、3億81百万円(前年同期比33.3%減)となりました。これは、長期・短期借入金の借入および返済による資金の増加があったこと等によるものです。



第22回赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーン(2008年5月)



すくすくハウス



## ビジョンのCSR活動

ビジョングループの展開する事業は妊娠・出産・子育てそして介護を通して手助けを必要とするすべての人々に対し、経営理念である「愛」を具体的な商品やサービスの形で提供することを柱として展開しています。そのため事業そのものを通じてCSR活動が可能であると考えております。また、すべてのステークホルダーを「お客様」と捉え、それらの方々と良好なバランスを保っていくこともCSR活動に通じると考えています。



### 愛を形に―「赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーン」

ビジョンらしい社会貢献活動をしたい。そんな思いから、「赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーン」は1986年にスタートしました。

赤ちゃんを産み育てる感動と喜びを多くの方々と共有し、子どもたちの未来へ残す森づくりと、次世代を担う赤ちゃんに自然が永続的に守られていくための環境づくりに貢献したいという考えに基づき、対象となる赤ちゃんを毎年全国から募集し、誕生を記念して植樹を行ってきました。「育児と育樹、心は同じ」このスローガンのもと、維持・管理しながら成長を見守っています。茨城県常陸大宮市の国有林に、20年目を迎えた2006年までに植えた木は8万本、大きなものは現在では10mに届き、総面積は東京ドーム6個分を上回るまでになりました。21年目の2007年からは、ゴルフ場予定地として長年放置されていた土地を当社が「ビジョン美和の森」として新たな森づくりを始めました。休憩施設として「すくすくハウス」を設置し、昨年10月には設立50周年を記念して全社員で植樹を行いました。

第22回からは地元、常陸大宮市の後援をいただき、本年5月には好天の下、100名以上の赤ちゃんとそのご家族の皆様と植樹式を開催いたしました。その後、7月までにコナラやクヌギ、エノキなど5,000本の広葉樹を植えました。これからも鳥が集い、蝶や蜚が舞い、秋には紅葉が楽しめる豊かな森づくりを目指した活動を続けてまいります。

### <株主アンケート実施についてのお願い>

この度、株主の皆様の声を直接お聞かせいただきたく、株主アンケートを実施させていただきます。これまで、さまざまな機会を通して株主の皆様のご意見を傾聴すべく努めてまいりましたが、改めて株主の皆様からご意見をいただき、当社(グループ)の経営やIR活動に反映させてまいりたいと考えております。つきましては、お手数ではございますが、同封いたしました「株主アンケート」にご記入の上、ご投函くださいますようお願いいたします。(切手は不要です)なお、アンケートの結果につきましては、平成21年4月下旬に発行予定の「第52期 期末報告書」においてご報告させていただきます予定です。

#### アンケート内容

**Q1** 今回の報告書をご覧になってのご感想をお聞かせください。

1. 内容が分りやすかった 2. 内容が分りにくかった 3. どちらとも言えない  
※分りにくかったのはどのような点でしょうか

**Q2** 特に、今回からサイズが大きくなったことについて、ご意見をお聞かせください。

1. 大きなサイズの方が良い 2. これまでのサイズの方が良い 3. どちらとも言えない

**Q3** 今回の報告書の記載内容のうち、

特に興味を持ってお読みいただけたものを3つお選びください。

1. TOP INTERVIEW 2. 事業一覧 3. 特集企画 4. 財務ハイライト  
5. 財務諸表 6. Stockholder's Square 7. 会社概要

**Q4** 株式への投資判断の際、参考になる情報収集手段は何でしょうか(複数回答可)。

1. 証券会社の担当者 2. インターネット(一般情報) 3. 当該企業のホームページ  
4. 会社四季報・会社情報 5. 証券専門雑誌 6. 経済雑誌(東洋経済等)  
7. 関連書籍 8. 証券専門新聞(日経含む) 9. 一般新聞(読売、朝日ほか) 10. その他

**Q5** 今後、報告書に期待したい点、あるいは、

より内容の充実を望まれることをお書きください。

**Q6** 当社(グループ)に対するご意見、ご要望をお聞かせください。

■会社概要

■設立年月日 昭和32年8月15日

■事業内容 育児・マタニティ・女性ケア・ホームヘルスケア・介護用品等の製造、販売および輸出入ならびに保育事業

■資本金 5,199,597千円

■従業員数 851名  
※上記は正社員および契約社員の人数です。

■主要事業所

本社 〒103-8480  
東京都中央区  
日本橋久松町4番4号  
TEL 03-3661-4200(代表)

事業所 茨城県稲敷郡阿見町  
東京都中野区

物流センター 茨城県稲敷郡阿見町  
茨城県常陸太田市  
兵庫県神崎郡神河町

研究所 茨城県つくばみらい市

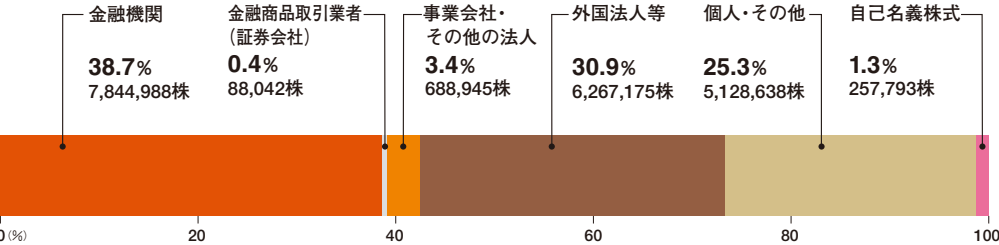
営業拠点 札幌・仙台・大宮・東京・名古屋・大阪・広島・福岡 他1ヵ所

■株式の状況（平成20年7月31日現在）

|           |             |
|-----------|-------------|
| ●発行可能株式総数 | 60,000,000株 |
| ●発行済株式の総数 | 20,275,581株 |
| ●株主数      | 5,817名      |
| ●自己株式     | 257,793株    |

| 大株主（上位10名）                                             | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|--------------------------------------------------------|---------|---------|
| 仲田洋一                                                   | 3,227   | 15.92   |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)                              | 2,779   | 13.71   |
| ゴールドマン・サックス・インターナショナル                                  | 1,758   | 8.67    |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                                | 1,347   | 6.65    |
| 日興シティ信託銀行株式会社(投信口)                                     | 1,272   | 6.28    |
| バンクオブニューヨーク・ジーシーエムクライアントアカウント・ジェイピーアールディアイエス・エフイーエイシー  | 564     | 2.79    |
| ビジョン社員持株会                                              | 469     | 2.32    |
| ビービーエイチマッシュ・アジアパシフィックファンド                              | 334     | 1.65    |
| ビービーエイチフォーバリアブル・インシュランス・プロダクツ・エフディー・スリーエムアイディー・キャップポート | 302     | 1.49    |
| ザチエスマン・ハツタン・バンク・エヌエイロンドン・エスエル・オムニバス・アカウント              | 287     | 1.42    |

■所有者別株式分布状況



■役員（平成20年10月1日現在）

取締役最高顧問 仲田 洋一

代表取締役会長 松村 誠一

代表取締役社長 大越 昭夫

専務取締役 佐久間 隆  
(経営企画本部兼管理本部兼監査室担当)

常務取締役 太田 和比古  
(国内ベビー・ママ事業本部兼HHC・介護事業本部担当)

常務取締役 米田 幸正  
(海外事業本部兼子育て支援事業本部兼お客様相談室担当)

取締役 勝木 尚  
(開発本部兼ロジスティクス本部担当)

常勤監査役 色部 文雄

常勤監査役 大藪 克実

監査役 西山 茂

監査役 出澤 秀二

執行役員 高坂 功 (経営企画本部長)

執行役員 高島 康 (管理本部長)

執行役員 湯田 博毅 (国内ベビー・ママ事業本部長)

執行役員 倉知 康典 (国内ベビー・ママ事業本部副本部長)

執行役員 甘利 和久 (開発本部長)

執行役員 岩本 忍 (ロジスティクス本部長)

執行役員 山下 茂 (海外事業本部長)

執行役員 北澤 憲政 (海外事業本部副本部長)

執行役員 赤松 栄治 (子育て支援事業本部長)

執行役員 石上 光志 (HHC・介護事業本部長)

(注)監査役 西山 茂および出澤 秀二の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

■次の15社を連結の対象にしています。

- ビジョンホームプロダクツ(株)
- ビジョンウィル(株)
- ビジョンハーツ(株)
- PHP兵庫(株)
- PHP茨城(株)
- ビジョンタヒラ(株)
- ビジョン真中(株)
- PIGEON SINGAPORE PTE.LTD.
- PIGEON (SHANGHAI) CO.,LTD.
- LANSINOH LABORATORIES,INC.
- PIGEON MANUFACTURING (SHANGHAI) CO.,LTD.
- PIGEON LAND (SHANGHAI) CO.,LTD.
- SHANGHAI CHANGING PIGEON LAND EDUCATION TRAINING CENTER.
- PIGEON INDUSTRIES (THAILAND) CO.,LTD.
- THAI PIGEON CO.,LTD.

■次の2社について持分法を適用しています。

- P.T.PIGEON INDONESIA
- クラフレックス茨城(株)

## 株主メモ

|                             |                                                                                                                                               |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度                        | 2月1日から翌年1月31日まで                                                                                                                               |
| 定時株主総会                      | 毎年4月中                                                                                                                                         |
| 配当金受領<br>株主確定日              | 毎年1月31日<br>(ただし、中間配当を行う場合は7月31日)<br>最終の株主名簿および実質株主名簿に記載されている株主または登録株式質権者にお支払いいたします。                                                           |
| 株主名簿管理人                     | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社                                                                                                            |
| 同事務取扱場所                     | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部                                                                                                      |
| 同事務連絡先<br>(お問合せ先<br>郵便物送付先) | 〒137-8081<br>東京都江東区東砂七丁目10番11号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>TEL 0120-232-711<br>(フリーダイヤル 平日9:00~17:00)                                           |
| 同取次所                        | 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店<br>野村證券株式会社 全国本支店                                                                                                         |
| 手数料                         | 名義書換……当社株主名簿管理人へ<br>直接お持ち込みの場合無料<br>新株券交付…その新株券発行に係る<br>印紙税相当額                                                                                |
| 単元株式数                       | 100株                                                                                                                                          |
| 単元未満株式の<br>買取請求取扱場所         | 上記株主名簿管理人がお取り扱いいたします。<br>ただし、実質株主名簿に登録(株券保管振替制度により株券を預託)されている場合は、<br>お取引の証券会社等にお申し出ください。                                                      |
| 公告の方法                       | 電子公告<br>URL ( <a href="http://www.pigeon.co.jp/">http://www.pigeon.co.jp/</a> )<br>ただし、やむを得ない事由により、電子公告<br>によることができない場合は、日本経済新聞<br>に掲載して行います。 |

### ●ご案内

- ① 当社の配当金は、お取引銀行口座への直接入金方法をご利用いただけますと、迅速、確実にお受け取りになれます。
- ② 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-864-490(自動音声対応)で24時間承っておりますので、ご利用ください。



### 表紙の絵について

当社は、未来の科学の夢絵画展「幼稚園の部」の発明協会会長賞並びに優秀賞を受賞された幼稚園に対して、当社創業者の故仲田祐一が幼児の創造性育成のために社団法人発明協会へ寄贈した基金により「仲田祐一奨励金」を毎年協会を通して贈呈しております。表紙の絵は同協会のご協力を得て掲載しているものです。

インターネットホームページでも  
IR情報を掲載しています。



ビジョントップページ

ビジョントップページ

<http://www.pigeon.co.jp/>

IR情報トップページ

<http://www.pigeon.co.jp/ir/ir/index.html>



IR情報トップページ



この報告書は環境保全のため、FSCミックス認証紙と、環境に優しい大豆油インキを使用して印刷するとともに、針金を使わず「ECOとし」にて製本しています。

ピジョン株式会社